

③朝鮮 朝鮮、ロシア、小笠原諸島についても、資料集P244明治初期の外交政策を参照。地図の確認とともに、解説文もしっかり読む。

朝鮮の開国 …… 明治六年の政変で挫折

1875年【江華島】事件 …… 朝鮮が日本軍艦に砲撃

江華島は朝鮮首都の漢城の近くの島。そこで日本軍艦が示威行為をしたことが原因。

1876年【日朝修好条規】(江華条約)

日本による朝鮮に対するの不平等条約。大久保は、日本が欧米にされたことを朝鮮にする。

釜山、仁川、元山の開港、日本の領事裁判権を認める

④ロシア

樺太(両国の雑居地)の帰属が懸案に

日露和親条約を確認する。樺太は雑居地に。両国民が居住するため、衝突した際に危険。また日本は北海道の開発を優先。資料集P244右中の日露間の外交を参照。

1875年【樺太・千島交換条約】(全権【榎本武揚】)

千島全島：【日本領】、樺太：【ロシア領】

⑤小笠原諸島…1876年 日本が領有宣言

資料集P244小笠原諸島領有を参照。

6 殖産興業と文明開化

貨幣の統一と銀行の創設

貨幣制度については、資料集P241を参照。

不換紙幣と兌換紙幣の意味を必ず調べて理解すること。

政府の財源不足 → 江戸、大坂、京都の商人から御用金を徴発

紙幣の発行(太政官札、民部省札) = 【不換紙幣】

※金貨・銀貨と交換できない

資料集P241に写真がある。他にも国立銀行紙幣などもある。見ておくこと。

↓ 紙幣価値の下落、経済の混乱

幕府、諸藩が低質の硬貨を鋳造 = 貿易にも使用 ※外国が通貨の改善を要求

1871年【新貨条例】 ※大阪に造幣寮

金本位制 → 実質は銀本位(金銀複本位制)

円、銭、厘の【十進法】

資料集P241金本位制を必ず読む。日本は金の保有量が少なかったため金銀複本位制に。金本位制は1897年に実現。

1872年 新紙幣発行(太政官札などを回収が目的) 不換紙幣

” 【国立銀行条例】 ※【渋沢栄一】が中心

国立銀行=国の法律に基づき設立した銀行

国立銀行券(紙幣)の発行 = 【兌換紙幣】を義務 ※設立数少

↓ 金銀の保有量が少なため。

1876年 金兌換義務を除外(不換紙幣発行) ※設立数増加

国営銀行ではなく民間銀行。第一銀行のように設立順に番号を名乗り153行が開設される。今でも仙台の七十七銀行のように名残がある。

西南戦争の戦費調達のため紙幣が必要に。

兌換紙幣の義務がなくなったため銀行数が増加。ただし不換紙幣の流通量も増える。

地租改正

土地制度、税制改革の必要性

資料集P237を参照。特に左上のテーマのポイントマークして内容を理解すること。またその下の地租改正の展開について押さえておくこと。地租改正内容と結果が大事。

江戸幕府からの【年貢】中心の税制 → 本百姓の負担大 税収入が不安定
政府の財政難 → 安定した税収の必要

1871年【田畑勝手作の禁】解禁

商品作物は現金収入になり農民は作りたがったが、江戸幕府は米による年貢収入確保のため制限し

※1643年～ 米以外の商品作物などの栽培を禁じた

1872年【田畑永代売買の禁】解禁

※1643年～ 土地を百姓が勝手に売買できない

江戸幕府は。土地を売り買いさせると、借金などで農民が耕す土地を手放し年貢収入が少なくなるのを恐れて禁止した。

【地券】(壬申地券)を発行 ※面積、【土地所有者】、【地価】を記載

1873年【地租改正条例】 → 新税制に移行 ※1881年までに完成

- ・課税基準を収穫高から【地価】に変更
- ・税率は地価の【3%】を【金納】
- ・【土地所有者】が納税する

地価の3%を土地所有者が現金で納める。収穫高や現物納だと政府の税収が不安定だった。政府の財源安定が目的。

〈問題点〉 入会地は中世以来の村の共同用地。牧草や薪などを得ていた・実質収入減になる。

- ・従来の年貢収入より減らさない税率を設定 → 農民の負担は代わらない
- ・【入会地】などの共同要地や所有権不明な土地は【官有地】に
- ・小作料の規定はなく、【現物納】のまま 現物納が後でポイントに。
- ・農民層の分解(地主層の富裕化と小百姓の貧窮化) → 寄生地主制への第一歩

1876年地租改正反対一揆 → 1877年 税率を地価の【2.5%】に引き下げ

資料集P237下の国税収入の内訳を見る。1880年と1900年をマークし見比べる。地租改正は1882年に完了するが、沖縄は1899開始～1903年に完成。北海道は不明。

殖産興業

産業の近代化による資本主義の確立 = 【殖産興業】 ※富国強兵

①産業の近代化 資料集P238殖産興業政策の推進官庁で工部省と内務省の違いを調べる。

鉱工業…1870年【工部省】(【伊藤博文】)

各種事業の官営

旧幕府経営：佐渡金山、生野銀山 旧藩営：高島炭鉱、三池炭鉱

旧幕府事業：東京・大阪砲兵工廠、横須賀・長崎造船所

軽工業…【輸入超過】の改善 → 輸出商品の【生糸】の生産拡大

貿易赤字

生糸については、資料集P264～265近代産業の発展に詳しく書いてある。先取りして読んでおこう。

1872年【富岡製糸場】(【群馬】)・・・官営模範工場

資料集P238上の絵を見よう。気づいたことをメモしておく。

【フランス】の機械・技師
【工女】の育成

ここで育成された富岡工女は、各地で女工たちの指導に当たった。

②交通・通信 ※工部省管轄

鉄道：1872年【新橋】～横浜

3番目の鉄道は1880年の北海道。手宮(小樽)～札幌。幌内炭鉱からの石炭輸送のため。

74年 神戸～大阪 ※77年 大阪～京都

海運：【岩崎弥太郎】の【三菱】を保護

資料集P238下の海運業-三菱の台頭を参照

通信：1869年【電信】が東京～横浜間

電信は軍事上の理由から早く整備される。

1871年【郵便】制度・・・【前島密】の建議

1877年万国郵便連合条約に加盟、電話が輸入

資料集P240郵便事業と電信事業を参照。中程の電信事業の発達も目を通す。

③蝦夷地開発 資料集p239を参照。

1869年 北海道と改称・・・【開拓使】設置

開拓使は1869年東京に置かれる。初代長官は鍋島直正。1871年に北海道に移る。それまでは代官として判官を派遣。初代判官島義勇。

1876年【札幌農学校】

1期生はクラークに習う。2期生に新渡戸稲造、内村鑑三。

※1874年～【屯田兵】

士族授産
北海道の開拓と警備

北海道の開拓と防衛のため士族から募集。1904年廃止。

北海道開拓のもう一つの歴史に囚人労働がある。月形の樺戸集治監など各地に集治監(刑務所)がつくられ囚人が道路や鉱山などで使役された。

文明開化

国民生活、文化の近代化 → 西洋の思想、生活様式の導入 (啓蒙運動)

文明開化

資料集P242～243参照。絵などもじっくり見ておくこと。

①出版・言論

幕末～【本木昌造】の活版印刷術

明治～日刊新聞、雑誌の創刊

「すべての人間は自由で平等である」とい自然権の思想。フランス人権宣言などで具現化。

啓蒙思想・・・近代西洋思想の普及 ※天賦人権論の思想を紹介 → 自由民権運動に影響

【明六社】(1873年設立) 西洋近代思想の普及 = 啓蒙思想

・【森有礼】、福沢諭吉、西周、津田真道、加藤弘之、西村茂樹

・【明六雑誌】の発行

福沢諭吉：著書「【学問のすゝめ】」「西洋事情」「文明論之概略」

中村正直：訳本「西国立志編」(スマイルズ著)

「自由之理」(J.S.ミル著)

資料集P242おもな啓蒙思想家で福沢、中村、加藤、中江をマーク。著書などを押さえておこう。明六社や福沢についての説明もあるので読んでおくこと。

森有礼は明六社の中心で、のちに初代文部大臣。学校令などの制定に尽力。1889年大日本帝国憲法発布の日に襲われ翌日死去。

②教育

1871年 文部省設立

1872年 被仰出書

【学制】

資料集P271教育制度の変遷の、学制と教育令をマークし、特徴と違いを理解する。

・【フランス】の教育制度を導入

・人口600人に一つの小学校

・国民皆学

※小学校設立などの費用は地方が負担

教育制度については資料集P271にまとめられている。一気に覚えるのは大変なので、ページを覚えておいてこまめにチェックすること。

費用が地方・個人負担であった。資料集P271旧開智学校は代表的な小学校。写真右の解説文をしっかりと読み、学制反対一揆にマークする。

1877年 東京大学設立

1879年【教育令】公布(学制廃止、【アメリカ】の教育制度)

※私学【慶應義塾】(1868 福沢諭吉)、【同志社】(1875 新島襄)

【東京専門学校】(1882 大隈重信)

③宗教

仏教と神道・・・神道を国教とする方針から迫害される

1868年神仏分離令 → 【廃仏毀釈】

1870年大教宣布の詔(神道国教化を明確に) キリスト教・・・五榜の掲示により弾圧

廃仏毀釈は資料集P242中ほどの絵と解説を参照。これにより多くの寺院が壊され、仏像などの文化財も消失または海外に流失した。

浦上信徒弾圧事件(1868～1869) ← 欧米列強の批判

1873年キリスト教禁止の高札を撤去(五榜の掲示第3札)

幕末に来日した宣教師の日本人への布教活動

東京(横浜)、熊本(熊本洋学校=ジェーンズ)

長崎県浦上地方はキリシタンの多い地区で江戸時代から弾圧されていたが、明治になっても続き、1873年の弾圧を欧米が批判、これによりキリスト教が黙認されるようになる。

④生活

太陽暦・・・1873年～ ※年中行事などは旧暦

都市・・・洋服、ザンギリ頭

煉瓦作り、ガス灯、鉄道馬車

資料集P242新しい風俗の絵をじっくり見て特徴を捉えよう。人力車、鉄道馬車、洋服などを確認。ガス灯が横浜から都市部に普及した。ちなみに、明治はガス灯、大正に電灯が普及。真ん中の牛鍋の絵(仮名垣魯文「安愚楽鍋」の挿絵)の黒い服の男の髪型が散切(ザンギリ)頭である。

資料集P269キリスト教関係の人物の写真と解説がある。内村、新島、ジェーンズ、新渡戸をマーク。なお、クラークも札幌農学校でキリスト教の精神を教えた。

第2章 立憲国家の成立

1 自由民権運動

民権運動の展開

1873年 明治六年の政変

板垣退助、【 後藤象二郎 】、【 副島種臣 】、江藤新平

自由民権運動については、資料集P246自由民権運動関係年表を活用すること。特に運動に対する政府の動きと一緒に押さえておくこと。この後出てくる出来事や法令は年表に必ずマークすること。

4人とも征韓論で下野する。しかし江藤は民選議院設立建白書を提出後に佐賀の乱に参加し処刑される。

左院を資料集P234と教科書P36の5行目で確認。

教科書P56左下史料2行目「有司」をマーク。

1874年【 愛国公党 】設立

【 民選議院設立建白書 】を【 左院 】に提出

【 『日新真事誌』 】(英国人ブラックが創刊)に掲載

藩閥政府の専断(【 有司専制 】)を批判し、民選議院の設立を要求

自由民権運動が高揚

1874年【 立志社 】設立(【 土佐 】)・・・板垣退助、【 片岡健吉 】

1875年【 愛国社 】設立(【 大阪 】)・・・運動を全国に拡大

” 【 大阪会議 】・・・【 大久保利通 】と木戸孝允、板垣退助が会談

内容 { 立憲政体への移行を確約、木戸、板垣が政府に復帰

当時、台湾出兵を巡り木戸孝允も下野していた。西郷の鹿兒島にいて危機を感じた大久保が呼びかけた。会議を設定したのは当時大阪にいた井上馨。

左院廃止 → 【 元老院 】、【 地方官会議 】を設立

【 大審院 】(司法の最高機関)設立

【 漸次立憲政体樹立の詔 】の詔

※民権運動への取締・・・【 讒謗律 】、【 新聞紙 】条例、

出版条例改正 政府は必ず弾圧法を用意することを忘れずに。この法令は政府批判を封じたもの。これにより明六雑誌が廃刊に。

1880年 元老院が「日本校国憲按」を提出 ← 政府(岩倉具視など)の反対

廃案

民権運動の高揚

西南戦争で士族たちが徴兵軍に敗北したことにより、反政府運動は武力から言論に変わっていく。

1877年【 立志社建白 】(片岡健吉)・・・国会開設の上表 ← 政府無視

※立志社の一部が西南戦争で西郷軍に荷担 → 民権運動は下火に

1878年【 愛国社 】再興(大阪)・・・士族以外にも拡大(農民、商工業者など)

※1880年慶應義塾出身者の【 交詢社 】設立

福沢に学んだ者たちで設立。穏健な国会開設論。

様々な階層の人々が運動に参加する。いろいろな考えが出てくることを押さえておく。

1880年【 国会期成同盟 】(大阪) ※各地の政社が会合

目的を国会開設に絞る → 天皇に国会開設を請願(政府不受理)

※政府は【 集会条例 】で弾圧

やはり弾圧。運動のどの動きに対し、どんな法令が出されるのか整理しておくこと。

明治十四年の政変

国会開設を巡り政府内部で対立

【 大隈重信 】

V S

大久保の死後、政府の第一人者は佐賀出身の大隈。長州閥の伊藤たちが追い落とす。

【 伊藤博文 】

国会の即時開設

【 イギリス 】流の議院内閣制

福沢諭吉らの意見

時期尚早

【 ドイツ 】流の立憲君主制

井上毅らの意見

1871年プロイセン国王ウィルヘルム1世がドイツ皇帝となる。首相はビスマルク。

1881年【 開拓使官有物払下げ事件 】

※開拓使長官【 黒田清隆 】が官有物を【 五代友厚 】に安価での払い下げを計画

実態は、行き詰まっていた開拓使の事業を関西財界の五代に再建させようとした。

(薩摩)

政府への批判大、払下げ中止

(政商・薩摩)

も薩摩藩の武士で政府にいたが辞めて関西経済界の第一人者に。大久保の信頼が厚い。大阪商工会議所に銅像がある。

【 大隈重信 】が世論の煽ったとして、政府から追放

【 明治十四年の政変 】

【 国会開設の勅諭 】・・・

【 1890 】年に開設を公約

この政変で慶應義塾などで福沢に学んだ官僚も辞めさせられていることに着目。

資料集P246明治十四年の政変の絵と解説、その下の薩長藩閥政権の誕生の解説を読む。

松方財政

重要。この政策で農民の生活が最悪に。自由民権運動との関係にも着目。

大蔵卿【 大隈重信 】(1873~1880)

殖産興業政策 → 積極財政(通貨量大) = 国立銀行による【 不換 】紙幣増発

※西南戦争による戦費調達も紙幣増発の一因

結果：貨幣価値の【 下落 】 = 【 インフレーション 】

※政府の歳入の実質的減少 → 財政難

貿易：輸入超過 → 正貨(金銀)保有量減

対策：1880年 酒造税など増税

【 工場払下げ概則 】・・・官営工場を民間に

1881年【 農商務省 】創設

※官営事業 → 民間での事業に(補助金、技術指導)

明治十四年の政変 → 【 大隈重信 】失脚

殖産興業の中心は農商務省になることで、それまで主導していた内務省は地方行政、警察などの部門が中心となる。

紙幣増発 → 貨幣価値下落 → インフレ

資料集P247大隈財政と松方財政を参照。右のピンク色の枠の解説もしっかり読む。政策の違いと結果を押さえる。

1882年～ 大蔵卿【 松方正義 】 = 松方財政

- ・軍事費以外の財政支出を緊縮
- ・不換紙幣の回収と正貨の蓄積

インフレ原因の増えすぎた流通紙幣回収のため、増税と緊縮財政に転換。そのためデフレになり物価下落に。

1882年【 日本銀行 】設立……中央銀行※唯一の発券銀行に

1885年【 日本銀行券 】発行……【 銀 】兌換（銀本位制）

政党の結成

日本銀行設立は、資料集P247を参照。正貨(金)保有量がないため、1882設立だが、日本銀行券発行は1885年、しかも銀兌換紙幣。金本位制は1897年確立。

①政党の成立

1881年 国会開設の勅諭 → 民権派が政党を結成

【 自由党 】 1881年成立、【 板垣退助 】
フランス流の急進的な自由主義
士族や農村の地主層

【 立憲改進黨 】 1882年成立、【 大隈重信 】
イギリス流の議院内閣制を主張
都市の実業家、知識階級

資料集P247政党の結成で、3つの政党の内容、支持層、機関誌などを押さえよう。特に、自由党と改進黨の違いを理解すること。

自由党は農民層、改進黨は知識層が支持。活動に差が出る。

政府よりの政党

【 立憲帝政党 】 1882年成立、【 福地源一郎 】 ※翌年解党

福地源一郎は「東京日日新聞」の社長。当時は福沢と並ぶ言論人。

②憲法草案……憲法案を民間でも作成

1881年 「【 私擬憲法案 】」（【 交詢社 】）：福沢諭吉系

- ・議院内閣制、国务大臣の連帯責任制

〃 「【 東洋大日本国国憲按 】」（植木枝盛）

- ・【 抵抗権 】、【 革命権 】を主張

資料集P247私擬憲法を参照。東洋大日本国国憲按の抵抗権・革命権はフランス革命や「社会契約論」の影響

③思想

天賦人権論

【 民約訳解 】（中江兆民）……【 社会契約論 】（ルソー）の訳本

【 人権新説 】（加藤弘之）……ダーウィンの生物進化論を紹介

資料集P242啓蒙思想家を参照。

民権運動の激化

①松方財政 → 深刻な【 不況 】 = デフレーション

- ・米価、生糸価格の【 下落 】
- ・増税、定額地租の負担

資料集P247米・生糸価格の変動で松方財政期の箇所をマーク。農村が厳しい状況を理解する。

※自作農の没落 → 小作農の増加
貧民として都市に流入
地主層……農民の手放した土地を入手

松方財政の結果、生活苦から土地を手放した自作農は、小作人になるか、都市部で貧民となる。地主たちは土地を買い上げて田畑を増やし、小作料収入を手に入れる。

小作人に貸し出し高額の小作料収入

② 自由民権運動への影響

- ・生活苦の農民が急進的な動きに
- ・1882年集会条例改正……集会を政府の監視下に
- ・【 板垣洋行事件 】……自由党の板垣、後藤の洋行の費用を【 三井 】が負担

生きるために即時の改革を求める。

政府は板垣と後藤に欧米視察を勧めたが、その費用を政商の三井が出していた。当然民権運動家たちは政商との繋がりを批判。

立憲改進黨が批判

自由党は、大隈と【 三菱 】の関係を追求
※民権派リーダーの求心力低下

自由党と改進黨はお互いを批判して泥仕合の様相に。指導者不在の状態に、生活難で待てない農民たちは耐えられなくなる。

③ 民権運動の激化

1882年【 福島事件 】 資料集P248おもな激化事件と民権政社を参照。地図中の福島、加波山、秩父、大阪事件をマーク。解説を読む。

※県令【 三島通庸 】が県議会議長河野広中を検挙

高田事件

1884年 群馬事件

【 加波山事件 】

※自由党員による栃木県令三島通庸暗殺計画

自由党解党

【 秩父事件 】

※秩父【 困民党 】・借金党の農民が蜂起

政府は軍を投入して鎮圧

大隈が立憲改進黨を離党

改進黨も組織改革を巡って党内が不仲に。大隈は離党する。

資料集P247右中の「秩父事件」をマークし解説を読む。秩父は現在の埼玉県の山間部で生糸農家が多い。デフレで生糸価格が下落し生活苦から暴動。政府は、なんと、軍隊を動員して鎮圧。生活難の国民に軍隊を差し向けるとは…。

1885年【 大阪事件 】

※自由党員【 大井憲太郎 】が朝鮮での活動を計画

民権運動の停滞を打破するため、朝鮮の改革運動を助けるクーデターをおこし、朝鮮で民権運動を行おうとした。未然に発覚した。